

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度	昭和46年度以前		
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	01 豊かな食を支えるまちづくり
	小項目	施策	02 林業
事務事業名	03	猟政事業	
根拠法令・例規等	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律		
問	担当課(室)	農林水産課	
合	職・氏名	管理係長 藤原弘章	
先	電話	0869-64-1831	
	このシート作成に要した時間	7.0 時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	備前市内で農作物等を栽培している農家等
目的(何のために)	鳥獣による農林水産物及び人畜への被害の防止
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	有害鳥獣の数を適正な駆除により、バランスのとれた数に保つことにより、農作物被害の減少を図る

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	有害鳥獣捕獲策設置補助金	有害鳥獣捕獲柵制作に係る原材料費の補助(県1/3、市1/3)	
	有害鳥獣駆除事業補助金	有害鳥獣駆除班に対する活動補助等	
	有害鳥獣駆除事業	駆除班等に狩猟期間以外の捕獲許可を行い、有害鳥獣の駆除を推進する	
	猟政事務事業	猟友会の事務局等事務	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費	千円	1,905	1,988	2,083
	必要人員(人件費)	千円	0.34人	2,908	0.50人
	事業費	千円	4,813	6,418	7,900
	国県支出金	千円	387	1,392	546
	受益者負担	千円	3	3	3
繰入金	千円				
その他( )	千円				
一般財源	千円	4,423	5,023	7,351	
受益者負担比率	%	0.1%	0.0%	0.0%	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	結果指標量	事業	411	564	616
	対前年比	%	-	137.2%	109.2%
	活動コスト	円	999	987	997
	単位当たりコスト	円	2	2	2

(平成22年度事業)

事業の成果						
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値	
		目標値(A)	200	200	200	200
		実績値(B)	184	163	723	到達目標値
有害鳥獣による農作物被害面積(単位: a)	達成率(B/A)	92.00%	81.55%	361.30%	200	

成果指標設定の考え方・式や説明

有害鳥獣の駆除による農作物被害への効果を検証する

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> B
効率性の評価	コスト		
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> B
	市民参画度		

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	有害鳥獣による被害は継続するものと考えられるため、事業を引き続き実施していく方針					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
鳥獣の保護と有害鳥獣による農作物の被害防止という相反する観点から事業を進めていかなければならないが、イノシシ、ニホンジカ等の数が適正限度数を超過している現状からは、この事業の継続は必要であり、場合によっては拡大していかなければならないと考える。	評価区分 <A~E>	B
	妥当性	

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	有害鳥獣による被害は継続するものと考えられるため、事業を引き続き実施していく方針					